

<新病害>

もとぐされびょう

サツマイモ基腐病に注意！

発生地域からの感染種イモや苗の持ち込みに注意しましょう！

平成30(2018)年11月に沖縄県において国内で初めて発生が確認され、これまでに鹿児島県、宮崎県、熊本県、福岡県、長崎県、高知県、静岡県、岐阜県の9県で発生が確認されています。令和3(2021)年4月現在、栃木県での発生は確認されていません。

基腐病とは？

- ・病原菌 糸状菌（カビの一種）
- ・寄主植物 主に さつまいも（ヒルガオ科のみ）
- ・病徴 地際部、苗基部の黒変、葉の変色・萎縮、枯死
イモのなり首側からの腐敗



本病が侵入すると防除が困難であり、地域に蔓延します。
発病していなくても菌が株や土壤に潜んでいる可能性があり、未然に防止するために皆さまのご協力が必要です。

＜予防対策＞

- ・ 発生地域からの種イモや苗を持ち込まないようにする。
- ・ 苗や種イモは腐敗や病害のない健全なものを使用し、定植前の消毒や土壤消毒を徹底する。
- ・ 生育状況を観察し、早期発見に努める。
- ・ 疑わしいものは速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分する。

※ 詳細な防除対策は下記マニュアルのURLを御覧ください

(https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/Stem_blight_and_storage_tuber_rot_of_sweetpotatR02_1.pdf)



苗基部の黒変



生育不良 定植40日目



株の基部が暗褐色～黒色



株の枯死



なり首から暗褐色に腐敗

発病が疑われる場合はお近くの農業振興事務所もしくは、農業環境指導センターまでご連絡ください。

(写真出典) 農研機構生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業 (01020C)
令和2年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」より

栃木県農業環境指導センター 防除課

電話：028-626-3086

FAX：028-626-3012